自分たちにできるエコ活動

高崎市立西部小学校

１　取組の概要

西部小学校では、子どもたちの身近な環境に対する関心を高め、「自分たちにできることを考えて実践できる児童の育成」をめざして、全校で環境活動に取り組んできた。環境福祉委員会を中心に、栽培活動及び環境美化、節電・節水のポスターを作成して呼びかける活動をしてきた。夏休みには親子で除草作業をするなど、子どもたちだけでなく、家庭や地域の環境に対する意識も高い。ペットボトルキャップの回収では、校内で出たペットボトルキャップの他に、区長さんの協力があり、たくさんのペットボトルキャップを回収することができた。

２　令和７年度の活動内容

【環境美化・栽培活動】

〇花壇の整備と除草作業

環境福祉委員会では、運動会前に正門の花壇にキンギョソウを植えたり、卒業式に向けて地域の方からいただいたパンジー、ビオラ、虹色スミレを植えたりした。その結果、正門の花壇や玄関の周りに花があふれ、登校してくる児童や保護者、来校者を癒す役割となった。また、夏休み中の校庭での親子除草作業の中で、本校にある「心の池」の環境美化に努めることで、児童や教職員の憩いの場となり、学校全体の環境に対する意識を高められた。

花壇の整備・花の水やり

親子で除草作業

〇地域の特色を生かした学習

３年生では毎年、総合的な学習の時間で、地域の特産品である剣崎桃の栽培を、地域の方の指導のもとに行っている。１年間の桃の世話を通して、植物の育ち方、命のつなぎ方、そして桃作りに取り組む地域の方々の思いを学ぶことができた。

桃の袋掛け

育てた桃の収穫

【省エネ・リサイクル活動】

節電・節水、省エネのため、下記の通り学校全体で取り組んできた。

・使わない電気はこまめに消す。
・エアコンの設定温度を26～28℃にする。
・節水をよびかける。
・紙などリサイクルできるものはリサイクルする。

〇節電・節水、省エネ

環境福祉委員会の児童を中心に、学校全体で節電・節水に努めてきた。

節水を呼びかけるポスター

節電、省エネに関するポスターの掲示

〇ペットボトルキャップの回収

校内でのペットボトルキャップ（エコキャップ）の回収は、職員室のみで行ったが、職員が集めたキャップのみならず、区長さんからの協力もあり、合計で大きな袋２袋分のペットボトルキャップを回収することができた。

〇動く環境教室「エコムーブ号」プログラムへの参加

群馬県が実施する移動環境学習車「エコムーブ号」による「動く環境教室」を活用し、４、５年生で環境学習を実施した。

３　取組の見直し及び今後の活動

環境方針や活動の手引きをもとに、環境福祉委員会を中心に全校で様々な活動を行うことができた。生活科や理科、総合的な学習の時間の授業の中で植物を育てることで、周りの人に対する思いやりや優しい気持ちが育ってほしいという気持ちをこめながら、植物の成長を見守れた。

一方、ペットボトルキャップ（エコキャップ）の回収については、新型コロナウイルスの流行時から職員分の集約といった限定的な活動に留まっているため、来年度実施をするか検討中である。

今後も日常生活の様々な場面や地域の方々との関わりの中で、児童が環境について考える場を設け、環境についての意識がより高められるように取り組んでいきたい。